

1

# 生ごみ堆肥が野菜の楽しみをふやし、人と人をつなぐ



堆肥育ちの野菜で活気づく「かあちゃんの会」の直売。多種類の野菜とお茶うけの味見が楽しい（長野県高山村）

## ● 朝市は、野菜の楽しみがグーンとふくらむところ

冷涼な信州高山村の初夏、農家女性のグループ「かあちゃんの会」の開く直売所は初物自給野菜で活気づきます。新鮮野菜でにぎやかなうえ、さっそく料理した新ジャガイモの煮ころがしや自慢の漬物がお茶うけにならび、そこは仲間の試食・味見会に早がわり。店にやってきた消費者もこれに参加して、野菜の旬と料理情報の交流の場になります。

このような野菜の楽しみで盛り上がるのも、村の堆肥センターで製造し村内生産者・消費者に提供する生ごみリサイクル堆肥があるからです。高山村のおもな農産物はリンゴやブドウで、これらに堆肥を施して減農薬でおいしい果物を送り出しています。さらに農家のお母さんたちは、堆肥を自家用野菜に活かし、安全・安心で美味しい野菜のある食卓を消費者にも届けよう、学校給食にも提供しようと取り組んでいるのです。